SEC Company Information

SEC

SEC CORPORATION LTD.

Company Information —— 会社案内



SEC

SEC CORPORATION LTD.

株式会社エスイーシー
〒040-8632　函館市末広町22番1号
TEL:0138-22-7188(代表)
FAX:0138-27-6814(代表)

SatisfAction

HAKODATEから、満足を創るアクション。

SECにとって、最も価値のあること。
それは、函館を中心に、IT業界を牽引する存在であり続けること。
1969年の会社設立以来、時代の変遷に歩調を合わせながら、
情報処理、情報通信それぞれの分野で実績を積み重ねて参りました。
合言葉は、satisfaction（満足）＋Action（行動）＝「Satisf Action」
HAKODATEから、満足を創るアクションは、
IT事業にとどまらず、函館への地域貢献活動へとその裾野を広げています。



SEC
SEC CORPORATION LTD.

それは3つの満足

地域の満足

S OCIETY

従業員の満足

E MPLOYEE

お客様の満足

C USTOMER

SECは、3つのS［Satisfaction/満足］を基本理念に、豊かな社会の実現を目標として、ステークホルダーと積極的に関わり、共感を育み、信頼を築きながら、社会のサステナビリティに貢献する活動を推進しています。



Message from the Chairman and President [会長・社長ご挨拶]

HIDEO NAGAI

情報を通じて社会の豊かさづくりに
これからも貢献したい。



当社は、コンピュータの黎明期である1969年（昭和44年）に、地域社会の情報化に役立つ企業を目指して発足したのが出発点です。以来、幾多もの変遷を繰り返しながら、函館テクノポリス構想の中核的な役割を担う企業として、アウトソーシングやインターネットプロバイダー、ソフトウェア開発などの分野で実績を重ねてまいりました。1992年（平成4年）に社名を株式会社エスイーシーと改め、ICT分野にて事業を拡大。ISMSの認定、ISO9001、ISO14001認証、プライバシーマークの取得など、情報管理体制の整備を進めました。現在は公共、医療、産業の各種ソリューション事業や情報通信事業など、時代のニーズに呼応し事業の裾野を広げています。これからも「総合情報企業」として社会へのさらなるお役立ち企業を目指します。

株式会社エスイーシー　代表取締役会長　**永井 英夫**



HAKODATEの地から、
情報社会の未来を描き続けたい。

SEIJI YANAGIHARA

私たちは情報処理と情報通信の技術で地域社会の発展に貢献するとの企業理念のもと、50年以上に渡り地域に様々なソリューションを展開してきました。この間、社会やそれを支えるテクノロジーも大きく変化し、インターネット、モバイル、クラウドから、AI、データ活用、サイバーセキュリティと社会から求められるものも変わりました。私たちも新しい技術を学び、新しいサービスを生み出し、お客様の期待に応えるため挑戦を続けています。しかし創業以来変わらないのは、地域やお客様の課題を解決し、その成長を支えるという私たちの使命です。この使命を果たすため、社員一人ひとりの知恵と情熱で技術を磨き、新たな価値を創造し続けてきました。これからも私たちの大切な財産である人材を守り、支えてくださるお客様やパートナーの皆様への感謝を忘れず、HAKODATEの地から情報社会の未来を描き続けて参ります。

株式会社エスイーシー　代表取締役社長　**柳原 清司**

Business overview [事業紹介]



多様な分野に、最適解を。



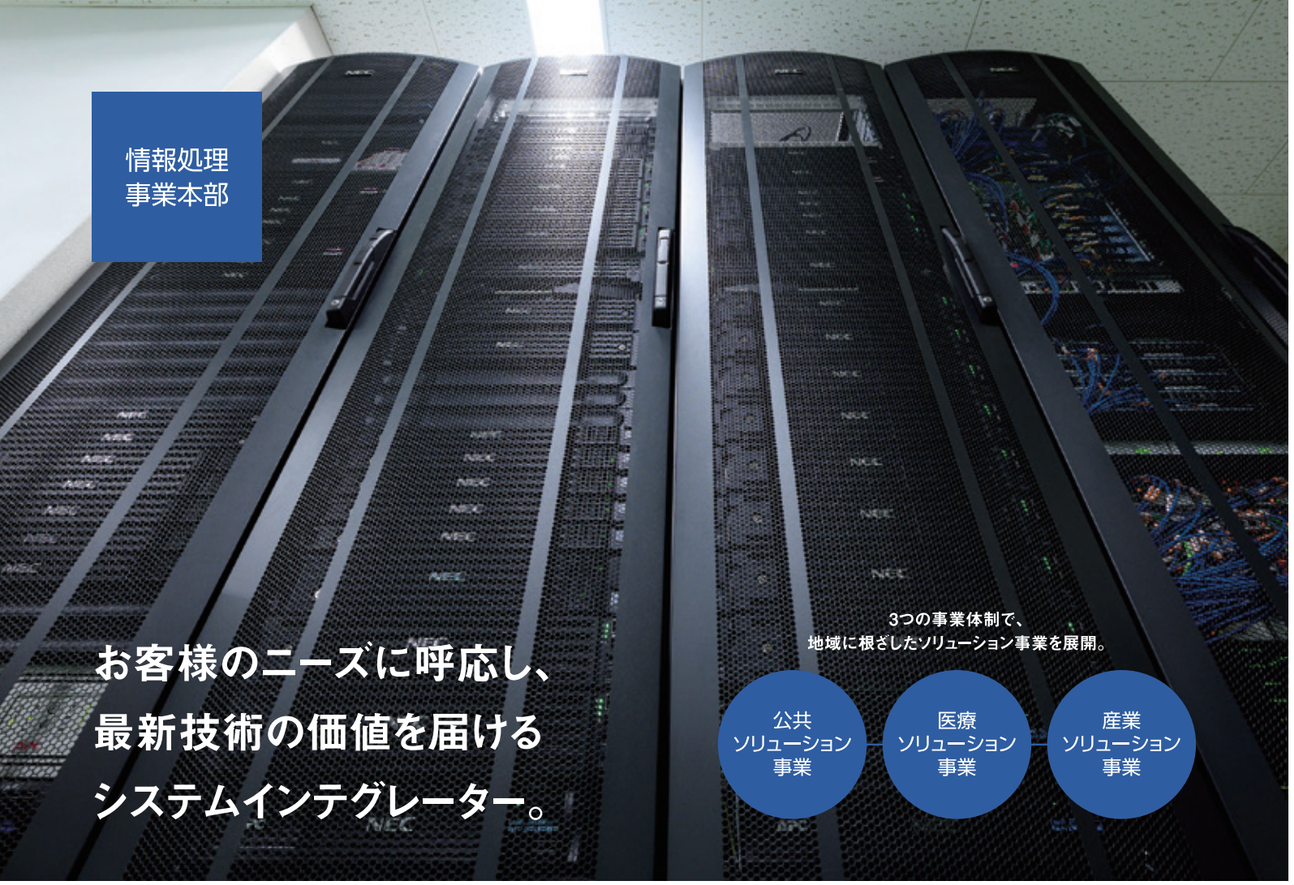
SECの事業領域

お客様や地域、社会が抱える多様な課題を、ITの力で解決へ導く。

SECが果たすべき使命。それは、公共、医療、産業などの多様な事業領域で、最適なソリューション力を発揮すること。そして、次世代ネットワークや組込みシステムの全領域を、ワンストップでカバーする設計開発力も当社の強みです。また、当社独自の視点で開発された自社開発ソリューションは、函館の地で、地域産業の活性化や競争力強化に向けた様々な課題をITで解決するオリジナリティにあふれています。



Information Solutions



情報処理
事業本部

お客様のニーズに呼応し、最新技術の価値を届けるシステムインテグレーター。

3つの事業体制で、
地域に根ざしたソリューション事業を展開。

公共ソリューション事業
医療ソリューション事業
産業ソリューション事業

公共ソリューション事業

自治体DXを推進し、確かな価値へ。

行政事務の情報化で培った豊富な実績をもとに、安全な情報管理と住民の利便性向上、行政業務の効率化を実現します。自治体システム標準化への対応に加え、AI・RPA・BIといった先進技術を活用し、スマート自治体の実現を支援。多様化するニーズに応じて、クラウドからオンプレミスまで柔軟に対応し、導入から運用まで一貫したサービスで、次世代の自治体運営を総合的にサポートします。

取り扱いシステム

- 住民情報システム
- 福祉情報システム
- 内部情報システム
- 文教システム
- 公営企業システム
- 各種業務システム
- 自治体ソリューション
- 公益サービスソリューション
- インフラの構築運用

In-house developed solutions［自社開発ソリューション］

公共事業の生産性向上に貢献。

●Care-Link 医療費助成

乳幼児、重度心身障がい者、ひとり親等の各種制度に対応し、資格管理や給付業務等、医療費助成事務など、自治体の医療費助成事務をトータルでサポートします。

●Fas-Web 公営企業会計

各種会計伝票の入力から決算まで、公営企業会計業務全般をサポート。予算編成から日次業務、月次監査、決算、決算統計の基本会計業務のほか、固定資産、貯蔵品の機能もサポートします。

●SuiTotal 水道料金

水道メーター検針から調定賦課、納付書作成、収納、滞納、メーター交換までトータルにサポート。スマートメーターやスマホ検針、収納のマルチチャネル化にも対応可能です。

●JuTrust 下水道受益者負担金

土地管理、受益者管理、賦課管理、申告書、決定通知書、納付書作成、収納までトータルにサポート。受益者情報については住民記録からの連携も可能です。

●イメージファイリングシステム

地方自治体の個人住民税、固定資産税、軽自動車税等の課税資料（紙）を画像データとして管理。デジタル化することで検索性の大幅な向上、紛失・劣化リスクの低減、ペーパーレス化により保管コストを削減します。



医療ソリューション事業

病院経営と医療サービスの革新をサポート。

医療DX（デジタルトランスフォーメーション）を共に考え、より質の高い医療サービスの向上、病院職員の業務効率化を実現するために総合的にサポートします。

取り扱いシステム

- 総合病院情報システム
- オーダリングシステム
- 地域医療連携ネットワークサービス「ID-Link」
- 看護支援システム
- 給食管理システム
- 健診システム
- 画像管理システム 他



医療現場のスムーズな業務に貢献。

●電子カルテシステム

医師が記録する診療情報を電子化することにより、管理コストの低減、診療時の参照、診断書の作成など様々な面での業務の効率化を図ることが可能となり医療の質の向上に寄与します。

●医療事務システム

豊富な導入実績と、診療報酬・診療報酬改定・医療制度改革へ確実に対応してきた実績があり、医療をとりまく環境の変化を背景とした医療制度改革、DPC（包括評価算定）などに対応できます。

In-house developed solutions［自社開発ソリューション］

●地域医療連携ネットワークサービス「ID-Link」

当社が開発した地域医療連携ネットワークサービス「ID-Link」は、全国の多数の医療機関に導入されています。地域に分散した診療情報を統合・共有する全国統一のクラウドサービスです。地域の参加医療施設間をネットワークで接続し、各施設が保有する診療情報の相互参照を可能にすることで、患者様への適切なサービスを提供します。

産業ソリューション事業

経営戦略とITの進歩戦略の融合をサポート。

民間企業の運営に関わる様々な課題に対して、最新、最適なソリューションを提案します。お客様のニーズと経営戦略を最重要と考え、情報システムの企画、設計、製造から導入後の保守までを担う総合的なシステムインテグレーターとして、企業経営の良きパートナーを目指します。

取り扱いシステム

- 販売管理システム（Flexseed neo）
- 冷蔵庫管理システム
- 製造生産管理システム
- 卸精算管理システム
- 観光施設入場管理システム
- 保険料回収システム
- 人事給与勤怠管理システム
- 財務管理システム
- 介護施設トータルシステム

In-house developed solutions［自社開発ソリューション］

あらゆる産業を支える先進のシステム提案。

●販売管理システム（Flexseed neo）

商品の発注、仕入、在庫、受注、出荷、請求、入金、支払に至るまで、一連の販売プロセスにおける「モノ」と「お金」の流れを一元管理し、業務効率化やデータ活用を実現するトータルシステムです。

●冷蔵庫管理システム

寄託者の在庫状況、入出庫管理、名義変更、ロケーション管理を行い複雑な保管料の請求業務にも対応した営業冷蔵庫業務に特化したトータルシステムです。

●製造生産管理システム

原材料の仕入、製造、在庫、出荷、売上、請求管理に至る製造生産プロセスや、トレーサビリティー、ロット管理、賞味期限、原価管理にも対応する食品製造向けに特化したトータルシステムです。

●卸精算管理システム

荷受けから精算、請求まで、業務の流れをサポート。インターネットFAXによる売立速報やベジフルネットとの連携、銀行の総合振込にも対応したトータルシステムです。

●観光施設入場管理システム

窓口での個人・団体向けのチケットの販売、事前予約受付、入場者管理、売上集計までを一元管理。売店などの売上データとも連携できる観光施設向けのトータルシステムです。

●保険料回収システム

建設業向けの国民健康保険組合の被保険者・扶養者などの会員管理、保険料の自動計算、各種手続きを一元管理、ゆうちょ銀行の自動払込みへの連携にも対応したトータルシステムです。



情報通信
事業本部

ITの最先端に挑む
スペシャリスト集団として、
IoT時代のものづくりを支える。

情報通信事業

技術力と総合力でものづくりをサポート。

最新の通信系、制御系、企業系システムの実現を、ソフトウェア開発、ハードウェア開発、サービスSIの全技術領域でフルカバーする総合力を駆使して、次世代のものづくりや社会インフラ創造など、お客様のニーズにお応えします。函館・東京・札幌の3拠点をセキュアなICTネットワークで結んだ世界とタイムラグのない分散型の設計開発体制、ITの最先端に挑むスペシャリスト集団として、お客様の次世代のものづくりを支えます。

ソフトウェア開発
- 通信インフラ向けソフトウェア開発
- 組込ソフトウェア開発
- 企業向けソフトウェア開発

ハードウェア開発
- デジタルLSI開発
- ボード開発
- 筐体設計開発

SIサービス
- ネットワークインフラ設計、構築
- 仮想化ネットワーク構築、評価
- サーバー設計、構築、評価



Design and development system［設計開発システム］

次世代のものづくりや社会インフラを下支え。

●ソフトウェア／ハードウェア開発
- 5G、次世代ネットワークシステム／プロトコル処理系／車載・家電系／サーバ系のソフトウェア開発
- 各種ドライバ開発　・Webアプリケーション開発 他
- デジタルLSI開発（FPGA、セルベースIC等）
- ボード（PKG、パネル）開発　・筐体（構造）設計開発 他

●システム開発
- センサー等を活用したネットワーク装置
  気象観測システム（WeatherBucket）、ネットワーク監視カメラシステム
- L2SW（ファームウェア、PKG、FPGA）
- ローコードツールを活用した企業向け基幹システム
- 官公庁向け通信システム





SEC Topics
［SECの活動］

HAKODATEのまちが、好きだから。SECの「トピックス」。

Topics.1 函館港まつりへの参加やイベントへの協賛



地域の皆様とともに、街の活気と魅力づくりに寄与。

多くの観光客や市民で賑わう夏の一大イベント「函館港まつり」。当社はメインパレードの「ワッショイはこだて」に社員およびその家族が多数参加。自社の大きな山車を披露し、祭りの盛り上げに貢献しています。





Topics.2 函館マラソン公式スポンサー



冷たい給水とともに心を込めた熱い声援をランナーへ。

2019年より「函館マラソン」のゴールドスポンサーとして特別協賛を継続。社員もランナーとして参加するほか、ボランティアとして運営をサポート。ランナーに寄り添いながら、地域と一体となった感動の場づくりに貢献しています。





Topics.3 地域への感謝と文化振興を目的とした「SECクラシックコンサート」



市民や吹奏楽部の学生、お取引先の皆様、社員などをご招待。

「SECクラシックコンサート」は、2019年の創立50周年プレイベントとして、札幌交響楽団をお迎えし開催したことに始まります。その後もメセナ活動の一環として継続開催し、迫力と感動あふれる演奏をお届けしています。



Company History [企業の歴史]

1969(昭和44年)
10月 株式会社 南北海道電子計算センター 設立
（資本金1,500万円）

1971(昭和46年)
12月 資本金を2,000万円とする

1975(昭和50年)
1月 本社を現在の所在地に移転（函館市末広町22番1号）

1976(昭和51年)
1月 NEAC2200-150Bを増設
4月 資本金を4,000万円とする

1981(昭和56年)
10月 マイコンショップ システムイン南北海道 開設
12月 ACOS350NI変更

1983(昭和58年)
4月 パソコン教室 開設

1984(昭和59年)
12月 ニューメディア開発室開設（現在の情報通信事業本部の前身）
オンラインサービス開始

1986(昭和61年)
9月 OAステーション 開設

1987(昭和62年)
1月 一般第二種電気通信事業者に登録
9月 電算センタービル完成（1989年函館市景観形成建物に指定）
ACOS610-10NI更新
CVCF50KV設置

1988(昭和63年)
3月 通産省認定安全対策実施事業所の指定を受ける

1989(昭和64・平成元年)
4月 我孫子システムセンター 開設

1990(平成2年)
3月 SI事業所を登録

1991(平成3年)
10月 システムイン八雲 開設

1992(平成4年)
3月 ニューメディアビル（現 本社ビル）完成
4月 社名を 株式会社エスイーシー に改称
5月 東京システムセンター 開設
8月 ACOS3600-8MPに更新

1993(平成5年)
8月 CVCF50KV増設

1995(平成7年)
6月 札幌システムセンター 開設
8月 函館港まつりに「くじら山車」で初参加
11月 インターネットプロバイダー開始

1998(平成10年)
1月 札幌エスイーシービル取得
9月 CVCF100KVに更新
10月 ACOSPX7800に更新

1999(平成11年)
9月 ニューメディア開発事業部（現・情報通信事業本部）ISO9001認証
10月 電気通信工事業許可

2001(平成13年)
3月 国土交通省　平成12年度地域活性化貢献企業賞受賞
7月 Hot Web Cafe 開設

2003(平成15年)
3月 SECシステムビル完成
4月 プライバシーマーク認定
8月 電気保安確保功績賞受賞
10月 SECシステムビル　平成15年度函館市都市景観賞受賞
情報処理開発事業部（現・情報処理事業本部）ISO9001認証

2004(平成16年)
7月 環境マネジメントシステムISO14001認証（本社ビル）
12月 情報処理開発事業部（現・情報処理事業本部）ISO/IEC27001認証

2005(平成17年)
8月 非常用発電機設置

2006(平成18年)
5月 東京システムセンター移転（東京都港区芝浦4丁目16番36号 住友芝浦ビル2階）
9月 ACOSi-PX9000に更新

2008(平成20年)
6月 総務省 総務大臣表彰 U-JAPAN大賞受賞
SEC札幌駅北口オフィス開設
9月 北海道社会貢献賞（献血推進功労者）受賞
10月 経済産業省「情報化促進企業等部門」にて経済産業大臣表彰に選定
12月 ハイ・サービス日本300選受賞
本社ビル1階にAEDを設置

2011(平成23年)
11月 公益社団法人発明協会 実施功績賞受賞

2012(平成24年)
2月 ID Link 商標登録
8月 エスイーシー静岡オフィス 開設

2018(平成30年)
2月 ISO/IEC27001認証（医療ソリューション事業部 クラウドソリューション部）

2019(平成31・令和元年)
6月 札幌交響楽団による「SECクラシックコンサート」開催（以後継続）
7月 「函館マラソン」ゴールドスポンサーとして協賛（以後継続）
10月 株式会社エスイーシー創立50周年
10月 公益社団法人発明協会 実施功績賞受賞

2020(令和2年)
10月 経済産業省「地域未来牽引企業」選定

2021(令和3年)
6月 東京2020オリンピック聖火リレーの聖火ランナーに選出

2022(令和4年)
12月 ISO/IEC27017（ISMSクラウドセキュリティ）認証（情報処理事業本部 運用管理部、医療ソリューション事業部 クラウドソリューション部）

2024(令和6年)
11月 経済産業省「DX認定制度」認定取得

2025(令和7年)
9月 はこだてスマートムーブデー優秀団体受賞
12月 ISO/IEC27001認証（登録活動範囲を「全社」に拡大）

2026(令和8年)
6月 NEC全国販売店大会「北海道地域貢献賞」受賞
8月 公立はこだて未来大学と包括連携協定を締結



●南北海道電子計算センター設立時の新聞記事


●ACOS3600-8MPに更新


●地域活性化貢献企業賞受賞


●創立50周年ステンドグラス楯


●東京2020オリンピックの聖火ランナーに選出

HISTORY

これからも、歩みを止めない。

Company Profile [会社概要]

未来に向けた飛躍を予感させる、SECの「会社概要」。

Company Profile [会社概要]

株式会社エスイーシーはNEC情報サービス事業グループです。

■社　　名／株式会社エスイーシー（略称　SEC）
■法 人 番 号／6440001000206
■英 語 表 記／SEC Co. Ltd.
■本　　社／〒040-8632 函館市末広町22番1号
TEL：0138-22-7188（代表） FAX：0138-27-6814（代表）
■創　　業／1969年（昭和44年） 10月
■代 表 者／代表取締役会長 永井英夫　代表取締役社長 柳原清司
■資 本 金／40,000,000円
■主要取引先／函館市および北海道地域の各市町村、諸官庁・病院・医療機関、民間企業、日本電気（株）、日本電気グループ各社
■主な加盟団体／（社）情報サービス産業協会、NEC情報サービス事業グループ、函館商工会議所　他
■許可・登録・認定／
- プライバシーマーク制度
- ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）ISO/IEC27001
ISMSクラウドセキュリティISO/IEC27017（情報処理事業本部 運用管理部・医療ソリューション事業部 クラウドソリューション部）
- 品質マネジメントシステムISO9001（情報通信事業本部・情報処理事業本部）
- 環境マネジメントシステムISO14001（本社ビル）
- 電気通信工事業
- 電気通信事業者
- 労働者派遣事業許可（許可番号：派01-300788）他

■拠　点
- SEC本社ビル
〒040-8632 函館市末広町22番1号
- SECシステムビル
〒040-8632 函館市末広町18番17号
- SEC電算センタービル
〒040-8632 函館市末広町18番16号
- 札幌システムセンター
〒060-0061 札幌市中央区南1条西19丁目1番337号 SEC札幌ビル
- SEC札幌駅北口オフィス
〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目7番1号 札幌北スカイビル10階
- 東京システムセンター
〒108-0023 東京都港区芝浦4丁目16番36号 住友芝浦ビル2階
- 静岡オフィス
〒422-8062 静岡県静岡市駿河区稲川1丁目1番3号 地建稲川ビル4階 A号室
- SECシステムイン八雲
〒049-3106 二海郡八雲町富士見町136番1号

SEC Corporate Value SECの企業価値

許可・登録・認定

品質マネジメントシステム	環境マネジメントシステム	ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）	ISMSクラウドセキュリティ	プライバシーマーク	セキュリティ対策自己宣言（IPA）
JQA-QM3704 情報通信事業本部（函館・札幌） JQA-QMA16747 情報処理事業本部	JQA-EM4119 本社ビル	JQA-IM1907	JQA-IC0085 情報処理事業本部 運用管理部 医療ソリューション事業部 クラウドソリューション部	11820194	

DX推進に向けた取り組み

SECは、経済産業省が定めるDX認定事業者です。

SECは地域を代表するITベンダーとしてこれまで築き上げてきた経験と実績を基に、DXによる課題解決を自ら実践しその成果を、この地のみならず全国の地方都市へ展開することで各地の発展を支援することが出来る企業でありたいと考えています。

DX認定



●SEC本社ビル


●SEC電算センタービル



●SEC本社ビルエントランス


●札幌システムビル



●SECシステムビルエントランス


●SECシステムビル